



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

臨床研修部：石川 皓久

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 石川 皓久

【指導医】

聖路加国際病院 小児科 吉原 宏樹
聖路加国際大学 公衆衛生学研究科 林 邦好

けがで当院の救急外来を受診した方のうち、受診当時 15 歳

以下の方を対象とした研究

1.研究の対象

2018 年 1 月から 2019 年 12 月 (COVID-19 流行前) までと 2020 年 1 月から 2021 年 6 月 (COVID-19 流行後) までで当院救急外来を外傷性疾患として受診した 15 歳以下の小児患者。

2.研究の目的・方法

2019 年 12 月に初めて感染者が見つかった新型コロナウイルス感染症は、時間を追うごとに世界各地で感染を拡大させていきました。日本では感染拡大防止策として 2020 年 4 月 16 日に全都道府県を対象とした緊急事態宣言が発令されました。この社会的行動制限は子供たちへの影響も大きく、公立学校、幼稚園、保育園などは休校・休園となり、ステイホームが励行され子供たちの外出する機会は著しく減少しました。本研究では COVID-19 流行に伴う生活様式の変化で、外傷で受診する小児の患者さんの内訳（診断名、受傷起点）がどのように変化したかを明らかにすることが目的です。これによって小児の外傷性疾患の傾向から、今後の注意喚起を含めた予防的な対策を行うことができると考えております。

この調査では、通常の保険診療以外の医療行為を行うことはなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての後方視的な調査のみとなります。

調査期間は、研究倫理審査委員会承認後～2022 年 2 月までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

- ・年齢、性別、患者 ID、生年月日
- ・疾患名、受傷場所、受診日時、繰り返す受傷の有無、入院の有無、画像検査の有無、GCS、受診時のバイタルサイン、神経学的異常所見、疼痛スケール、意識消失の有無、身体所見(挫創、皮下血腫、出血)、入院歴、外科手術の有無 等

《試料》

なし